

2140

# 戰聞詳報

第貳號

昭和二十年一月二十九日

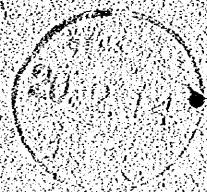
高雄海軍警備隊

杉本

自昭和二十年一月三日  
至同 一月四日 對空戰闘

高雄海軍警備隊

一月三十日送付



目次

一 計畫

二 戰鬥經過

三 戰果及被害

四 我が兵力、現状

五 参考

    (一) 米空軍攻要領

    (二) 爆轟目標

    (三) 米機數

    (四) 戰鬥訓

    (五) 要旨

        A 練度

        B 戦備

    (六) 對空戰鬥實施に當り主ナル所見

一、計畫  
 高雄警備府對空戰鬥計畫並高雄警備府陸上對空砲戰準則ニ依ル

二、戰鬥經過（一月三日）

時刻	指揮所	発令所	見張所	高角砲台	機銃砲台
〇七二〇			敵グラマン八機見 (頂加定)		
〇七二六			敵グラマン三機見 光前進行(更加定)		
〇七三〇	岡山海軍地区	台湾西海面	九七飛行艇一機クニ ンニ墜サレル頂加定		
〇七三二			南西(頂加定)		
〇七三四	台湾北部	東区南地区	第一種航空機警報発令		
〇七三五	高雄管区	空襲警報発令	(高雄)		
〇七四〇			敵グラマン八機見 南西(頂加定)		
〇七四五	對空戦闘				
〇七四六					

太陽方向線  
 (半扉機銃)  
 屏東方向大砲發射  
 關(半扉機銃)

0747	太陽方向爆音ニツケ 砲音始メ				予諺照尺ニ三〇〇 三〇(半屏機銃)
0750					高地上空多銃ヲ彈 幕ヲ発見ス同時ニグシ マノ四枚(南方向ニ進 行ス(半屏機銃))
0751					新目標高度正座ノグラ マンタム
0800	高地上空砲音聞ス				積雲ノタメ目標発見出 来ズ(半屏機銃)
0805					突如燃料廠上ニ砲 間ニ敵機發見射 撃開始(半屏機銃)
0808					敵ヲランセ機ハ〇度方 向ヨリ侵入高度ニハ 二四〇度方向ニ退ス (半屏機銃)
0813	敵ヲランセ機發見 砲音聞ス				敵ハ改機ヲ行ハズ半屏 山上ニ砲音聞ク道走 射撃中止(半屏機銃)
0814		商港上空ニ敵機三機 來襲各機砲火陸軍 砲音開始(砲山見張所)			敵ヲランセ機方向ヨリ 進入高度六〇 三三〇度方向ニ退ス (半屏機銃)
0815	見張ヲ撤ニセ				
0816			グラマンニ機砲山上 砲音聞ク(砲山) 滿院南東P五機高 度ニ北面進行(機作)		

0832			台南、北東、グロマン三機高度二〇南進行 (台南基地)				
0835			グロマン七機〇度方向 旋回中(成尾空)		馬場小隊戦闘開始(行陣着)		
0836					グロマン二機高度五〇度 △ミテオ(機首空)		グロマン三機(六〇方 向)侵入高度四〇 射撃開始六〇度方向 △ミテオ(機首空)
0837					隼八機三式戦闘機上空 三手敵機と交戦中 (機首空)		
0839		グロマン四機八南山上空 高度二〇南進行			阿波ノ東、グロマン五機 高度三〇南進行		
0841					高度三〇南進行 グロマン十機機上空放煙 九〇度方向南進行(八南山)		
0842		グロマン四機六機上空 旋回中			グロマン三機機首空 方向二南(機首空)		
0846		グロマン十機九〇度 方向二南					
0850		グロマン四機機首上空 旋回中	南入港三機弾射下 (九〇度)				
0854					原浦定、東、グロマン九 機北西進行(原浦定)		
0858			東港三機弾射下 (九〇度)				
0903			九〇度小型敵グロマン三 機上交戦中敵機、南西 二機退ス(九〇度)				

〇九四四			敵機南進行(高嶺山) 空機
〇九四一〇		敵機南進行(高嶺山) 空機	
〇九四一〇		敵機南進行(高嶺山) 空機	
〇九四一〇		敵機南進行(高嶺山) 空機	
〇九四一三	グラマン二機南港方向 南進行	グラマン六機高度二〇 南進行(高嶺山)	高嶺方向空機開始 ス(高嶺山)
〇九四一四		右沖南グラマン三機高度 三〇南進行(監視隊)	鳳山南グラマン三機高度 三〇南進行(鳳山)
〇九四二五	敵機五機南港上空	グラマン五機(八〇度)南 進行(高嶺山)	
〇九四二八	グラマン三機半屏山方向 高度二〇北進行		
〇九四三三	味方輸送機東港上空 高雄三向(九〇度)	グラマン三機高度三〇 上空(高嶺山)	
〇九四三八	屏東三機敵機回航高 度二〇(高嶺山)	グラマン六機高度八〇 六〇度	
〇九四四五	グラマン七機南港上空 高度五		
〇九四五六		グラマン三機北ヨリ南ニ 向(高嶺山)	
〇九四四八	グラマン機南港方向 南進行	彌陀南西グラマン八機高 度五(北南進行(高嶺山))	
〇九四五〇	西海方面旋回中グラマン 六機南港方向二向	武官村(九〇度)南ヨリ南 グラマン三機南港(高嶺山)	

一〇九五五	グラマン機隊底山上空 放廻中		敵味方船団攻撃中 (空襲全果)
一〇三二二			空襲全果 北西敵機隊(約六十機)放廻中(空襲全果)
一〇三三〇			空襲全果 北西敵機隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一〇三七七			敵艦上機隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一〇四四七			敵艦上機隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一〇四三八			敵艦上機隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一一〇三三	敵大編隊海面上空 雲間消滅		敵大編隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一一〇四六	グラマン五機隊底山上空 高度五層中		敵大編隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一一〇六〇	大編隊飛行機海面上空 北西進行		敵大編隊(約百機)放廻中(空襲全果)
一一二二〇		台南飛行場ニ爆弾 三個落下(台南基地)	
一一三三〇	南ニ進行中ノグラマン七機 ト九六陸隊ニ敵南西海面 上空ニテ交戦中		
一一三三一			
一一三三七	グラマン四機ニ六〇度 高度ニ南進行		福陀南西B25一機高 度ニ南進行(弾中)
一一四四六	グラマン十七機南西上陸 高度ニ南進行		敵機三機南西海上上空 高度ニ南進行(竹脚着)
一一五五一		B24一機馬公南西海面 放廻中(馬特根)	
一一三〇〇			岡山東ノグラマン四機高 度ニ南進行(岡山)

一三二〇	クランニ機(南山方向)五〇北進行			
一三二一	東港北西クランニ機 高慶三〇南進行			
一三二六			頭高定面八哩地百三 船機復合爆彈投下交 戦中(現無足)	
一三五八			敵機六六機敵爆弾機 五スル在機連下 (我台奉命昇)	
一四二九		高慶地区敵在機一 機(監視隊)		
一五一九	高警管区空襲警報第一種 改警報解除令(台軍司)			
一五二五	台湾全地区空襲警報第一種 改警報解除令(台軍司)			
一五三〇	台湾全地区第二種 所戰終報発令(台軍司)			
戦闘経過(一月四日)				
一六〇〇	高警管区第一種 改警報発令			高警
一六〇〇	台湾全地区			台軍司
一七二〇		クランニ機一八〇度方 向高慶三〇北東進行 (我台奉命昇)		
一七五六	台湾東南地区空襲警報発令			台軍司
一八〇〇	高警管区			高警



▽八〇〇						
▽八〇九	對空戦闘	敵七機(東港上空) (東港基地)				
▽八〇七	東港方向警戒	東港南東方グラマン六機 高度六〇北進行 (東港基地)				
▽八一〇	煙幕發煙用意					
▽八一五		敵機(東港方向)三機 (東港基地)				
▽八二〇						
▽八二四						
▽八二五						
▽八二九	砲撃始					
▽八三〇						
▽八三一						
▽八三四						
▽八三七						
▽八四〇	第一面煙幕發煙用意					
▽八四一						
▽八四三						

▽八四四		クワン山四枚岩山山上空						
▽八四七		ヨリ大岡山山向フ						
▽八五五		敵三枚岩南割ニ進行						
▽八五八								
▽九〇〇								
▽九〇三		クワン山六枚下極回上空ヨリ敵三枚岩南割ニ進行						
▽九〇六								
▽九〇九								
▽九一〇								
▽九一一								
▽九一三								
▽九一四								
▽九一五								
▽九一六								
▽九一七								
▽九一八								
▽九一九								
▽九二〇								
▽九二一								
▽九二二								
▽九二三								
▽九二四								
▽九二五								
▽九二六								
▽九二七								
▽九二八								
▽九二九								
▽九三〇								
▽九三一								
▽九三二								
▽九三三								
▽九三四								
▽九三五								
▽九三六								
▽九三七								
▽九三八								
▽九三九								
▽九四〇								
▽九四一								
▽九四二								
▽九四三								
▽九四四								
▽九四五								
▽九四六								
▽九四七								
▽九四八								
▽九四九								
▽九五〇								
▽九五二								
▽九五三								
▽九五四								
▽九五五								
▽九五六								
▽九五七								
▽九五八								
▽九五九								
▽九六〇								
▽九六一								
▽九六二								
▽九六三								
▽九六四								
▽九六五								
▽九六六								
▽九六七								
▽九六八								
▽九六九								
▽九七〇								
▽九七一								
▽九七二								
▽九七三								
▽九七四								
▽九七五								
▽九七六								
▽九七七								
▽九七八								
▽九七九								
▽九八〇								
▽九八一								
▽九八二								
▽九八三								
▽九八四								
▽九八五								
▽九八六								
▽九八七								
▽九八八								
▽九八九								
▽九九〇								
▽九九一								
▽九九二								
▽九九三								
▽九九四								
▽九九五								
▽九九六								
▽九九七								
▽九九八								
▽九九九								
▽一〇〇〇								
▽一〇〇一								
▽一〇〇二								
▽一〇〇三								
▽一〇〇四								
▽一〇〇五								
▽一〇〇六								
▽一〇〇七								
▽一〇〇八								
▽一〇〇九								
▽一〇一〇								
▽一〇一一								
▽一〇一二								
▽一〇一三								
▽一〇一四								
▽一〇一五								
▽一〇一六								
▽一〇一七								
▽一〇一八								
▽一〇一九								
▽一〇二〇								
▽一〇二一								
▽一〇二二								
▽一〇二三								
▽一〇二四								
▽一〇二五								
▽一〇二六								
▽一〇二七								
▽一〇二八								
▽一〇二九								
▽一〇三〇								
▽一〇三一								
▽一〇三二								
▽一〇三三								
▽一〇三四								
▽一〇三五								
▽一〇三六								
▽一〇三七								
▽一〇三八								
▽一〇三九								
▽一〇四〇								
▽一〇四一								
▽一〇四二								
▽一〇四三								
▽一〇四四								
▽一〇四五								
▽一〇四六								
▽一〇四七								
▽一〇四八								
▽一〇四九								
▽一〇五〇								
▽一〇五一								
▽一〇五二								
▽一〇五三								
▽一〇五四								
▽一〇五五								
▽一〇五六								
▽一〇五七								
▽一〇五八								
▽一〇五九								
▽一〇六〇								
▽一〇六一								
▽一〇六二								
▽一〇六三								
▽一〇六四								
▽一〇六五								
▽一〇六六								
▽一〇六七								
▽一〇六八								
▽一〇六九								
▽一〇七〇								
▽一〇七一								
▽一〇七二								
▽一〇七三								
▽一〇七四								
▽一〇七五								
▽一〇七六								
▽一〇七七								
▽一〇七八								
▽一〇七九								
▽一〇八〇								
▽一〇八一								
▽一〇八二								
▽一〇八三								
▽一〇八四								
▽一〇八五								
▽一〇八六								
▽一〇八七								
▽一〇八八								
▽一〇八九								
▽一〇九〇								
▽一〇九一								
▽一〇九二								
▽一〇九三								
▽一〇九四								
▽一〇九五								
▽一〇九六								
▽一〇九七								
▽一〇九八								
▽一〇九九								
▽一〇一〇〇								

射撃中止(半方第一)



三 戰果及被害

(イ) 戰果

岡山海軍地区 撃墜 ナシ  
 其他ノ地区 撃墜 一機  
 撃破 五機

(ロ) 被害

陸上施設 ナシ  
 船 艇 第三一〇駆潜艇 輕微 (攔坐)  
 第二〇四

一四〇五	(東港基地)	鳳山南B24高度五北 西進行 (鳳山)
一五〇〇	高雄管区空襲警報第一種發 戒警報解除	今ヨリ第一種發 戒警報 (高雄)
一五〇〇	右	今 (台軍司)
	對空戰鬥要且收	

四、我が兵力ノ現状  
 (1) 人員

(四) 兵器

區分	損傷	車	損	輕	傷	記	率					
								臺東高角砲	土種高角砲	土種高角砲前	土種機銃	土種機銃
計	五	五	一	四	六	一〇						

(1) 彈藥ノ現状 (岡山海軍地区)

砲台名	稱	数	總發射彈数	平均發射彈数	總彈重	平均彈重	記
左營砲台	十二糧高角砲	四	九	二	七九一	一九八	
荒鷲砲台	十糧高角砲	四	二〇	五	一〇五四	二六三	
半穿砲台	十二糧高角砲	四	三一	八	一四五四	三六三	
右冲砲台	十二糧高角砲	四	一一	三	八三六	二〇九	
下塩田砲台	十二糧高角砲	四	一五	四	七二五	一九六	
合計	十二糧高角砲	一三	三五	三	一四五四	三六三	
	十糧高角砲	四	二〇	五	一〇五四	二六三	
警備府屋上機銃	二十五糧機銃	四	一九三	四八	一〇七一	二六七	
港務部機銃	〃	六	三一五	一〇五	一六八二	二八〇	
龜山機銃	〃	六	三一五	一〇五	一六八二	二八〇	
国内機銃	〃	四	一一四	二八	七〇一八	一七五	
国内機銃	〃	四	九七	二四	七〇一八	一七五	
半屏第一機銃	〃	一〇	三三一	二〇	二六七三	二六九	
半屏第二機銃	〃	六	三三一	二〇	二六七三	二六九	
半屏第三機銃	〃	一三	五四六	四二	一八七三	二五六	

蘇澳機銃	十三挺機銃	四	五九五二	一四八八	四七九八	一一九九	
合	計	一三	一五一	一三	二六七六三	二〇九九	
台寮高角砲	十三挺高角砲	四	六五〇	一六二	一五〇	三七	披爆ニ依リ
荒鷲機銃	二十五挺機銃	四	一一三	三一	八七七	二二〇	
壽山西機銃		四	二	一	六四一三	一六〇三	
移動防空隊山田隊		六	八七	一三	九〇三一	一五〇五	
合	計	六六	一七九八	二七二〇	二五二	一六七〇	
構内機銃	三十挺機銃	一	四七	四七	一七〇五	一七〇五	
合	計	一	四七	四七	一七〇五	一七〇五	
右沖機銃	十三挺機銃	四	一九	五	五五四一	一三八五	
半屏第三機銃		二	三三	一六	四一六七	二〇八三	
移動防空隊笠井隊		二	三二	一一	八三一八	四一九九	
壽山西機銃		二	二六	一三	二五七八	一七八九	
移動防空隊杉浦隊		三	四一	一四	六一五九	二〇五三	
合	計	一三	一五一	一三	二六七六三	二〇九九	
其他一地区							





五 参考

(イ) 米空軍 攻撃要領

三日ヨロヨロ以後敵機来襲スルモ射程内ニ侵入スルモノ僅少ニシテ戰意極メテ低調ナリ

要港地区ニ来襲セルコグラフィックF4Fハ我が防空砲台攻撃ヲ開始スルヤ変高度及変針ヲ反覆連続シ巧ニ射彈ヲ避ケ逃走セリ

(ロ) 爆真目標

1. 飛行場

2. 船舶

3. 軍事施設

4. 港湾

5. 陣地

6. 其他

(ハ) 米空軍来襲機数

月	日	機種	機数	記	事
一月	三日	F4F F6F SB2C	延四〇〇機		

(一) 戰訓  
要旨

敵軍ノ比島方面攻取ニ對スル牽制的攻取ニシテ既ニ覺悟シタル空襲ヲナリ  
各地區共防空砲台ノ増設整備ニ及タドシテ努力カシ來レルモ輸送力生産力  
等ノ支障ニ依リ全防空砲台完成ノ域ニ至ラザル状態ニテ空襲ヲ蒙レリ

(A) 練度

高角砲台ハ前空襲(本月十三日)ニ参加セル砲台ハ相當ノ練度ニ達シタリタルモ  
高射器裝備後ノ教練射撃ハ一通リ終ラザル状態ニシテ高射器ニ對スル取  
扱充分ナラザル状態ニアリタリ  
機銃砲台ハ要港地區ニ在リテハ新裝備(龜山米岸第三機銃)ノ機銃砲台ノ  
他ハ自信ヲ以テ射撃ニ從事セシ如ク認メラレルモ陣地附近ニ來襲スルモノ殆ド  
ナク其ノ威力ヲ充分發揮スルニ至ラズ其他地區ニ在リテハ裝備後ノ訓練ニ

一月四日				
B	B	S B	F	F
25	24	2 C	6 F	4 F
延三五〇機				

(B) 依り練度向上シテ、アル状態ニアリタリ  
戦備

台湾方面緊急戦備ニ依ル防空砲台ハ二期後段迄ハ全部未着  
既後訓令ニ依ルモリ三聯装四基ハ未装備ノ状態アリ高台東飛遣ノ  
十二種高角砲四門十三種機銃三挺其ノ他附属品彈藥等ハ輸送ノ  
途ニ中被爆シ大部分ヲ焼失セリ

(ホ) 對空戦ヲ實施シ鑑ミテ見

(1) 通信輻輳スルタメ、各指令ノ至急完成ヲ要求ス (發令所)

(2) 電路應急修理班ニ對シ應急車ニテ持機ヲ希望ス (發令所)

(3) 飛襲機對シハ相射有効ナル距離迄近接セシメ射撃セザレハ無駄弾多ク  
効果ナシ (砲台)

(4) 二十五糎機銃急速装備ニ當リ木製ノ鞍架ホルトノ位置不具合ニテ戦斗ニ  
即應出來ス工伴部ニテ砲台製作ニ當リ一應檢討ノ要アリ (半屏高角砲台)

(5) 敵機ハ射撃ヲ開始スルト変高度飛行ヲ行ヒ照準在メテ困難ヲ來セリ  
機銃員ニ對シ変高度ニ對スル射撃訓練ノ要アリト認ム (荒鷲砲台)

(6) 煙幕ノ展張ニ依リ射撃効果ヲ削減セテタル如キ感アリタリ (左營砲台)

(7) 近距離横過目標ニ對シ高射器射撃ヲ行ヒタル為見越不足ニテ彈着  
遲レタリ 近距離高速飛行機ニ對シテハ環型照準ヲ可トス (左營砲台)

- (8) 空襲中ニ於ケル移動防空隊用ノトラスクハ二十機銃六基ニ對シ四台ニシテ介機銃及彈藥築城要具等搭載スルタメ移動中車ニ於テノ射撃ハ不可能ナリ。一基ニ對シ一台ノトラスクヲ必要トス。  
(移動防空隊 山田隊)
- (9) 雲低ク敵機雲上ヲ飛行スルトキハ絶エズ爆音ニ機銃ヲ指向シ居ルトキハ急ニ出現セル飛行機ヲ容易ニ捕捉シ得ルモノト認ム。(半屏第一機銃砲台)
- (10) 煙幕ノ展張ハ風向ヲ考慮シ砲台ニ障害トナラザル様展張スル必要アリ。(半屏第一機銃砲台)
- (11) 或跟彈少量ヲタメ一彈倉ニ對シ一発ヲ裝填射撃セル結果彈着ノ指導極メテ困難ナリ。(龜山砲台)
- (12) 航空基地ニ對スル敵ノ目標(送定順序ハ格納庫、重要建築物砲台)如シ。(東港機銃砲台)

2160

高雄陸軍第九師

昭和二十年一月二十九日

戰  
闘  
詳  
報

第三號

昭和二十年一月九日對空戰鬥

高雄海軍警備隊

一月二十九日送付



目次

- 一 計畫
- 二 戰鬥經過
- 三 戰果及被害
- 四 我が兵力、現狀
- 五 人員兵器
- 六 彈藥、現狀
- 七 功績
- 八 参考
- 九 米空軍攻真要領
- 十 爆真目標
- 十一 米空軍来襲機数
- 十二 戦訓

一計 畫

高雄警備府戰鬥計畫並之高雄警備府陸上對空砲戰準則ニ依ル

二戰 斗 經 過

時刻	指 揮 所	發 令 所	見 張 所	高 射 砲 台	機 銃 砲 台
0六一〇	台灣全地区警備第一種警備司令部發令(台軍司)				
0六三〇	台灣全地区空警備司令部發令(台軍司)				
0六四四	高雄警備府司令部第一種警備司令部發令(高警司)				
0六五七	哨船頭東南東日機一機高及五南可進(無用於空軍司令署行哨船頭)		哨船頭在哨船頭射張		
0七一七	陸軍向港方向三團ヲ				
0七二七	對空戰鬥(八〇方三備)	令	上	令	上
0七三六			令	上	令
0七三四			令	上	令

0735	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位
0742	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位	高教高島正位
0745	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇	本日、的連三〇〇
0747	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向	砲声、東方向
0752	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上	クラン三機、東上
0757	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行
0758	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高	北西、機高
0800	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高	馬公上、機高
0805	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行
0807	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行
0808	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行	機高、南進行



0八二九								
0八二八								
0八二七								
0八二六		クランニ機北東海面 上空高約一〇放中						
0八二五								
0八二四								
0八二三								
0八二二								
0八二一								
0八一六		クランニ機北東海面 上空高約一〇放中						
0八一七								
0八一八								
0八一九								
0八二〇								
0八二一								
0八二二								
0八二三								
0八二四								
0八二五								
0八二六								
0八二七								
0八二八								
0八二九								

八三五						八三六 敵機八機八〇分方向 侵入射撃開始 鳳止
八三七					八三三機北進行 (カヲニ)	敵機八機八〇分方向 侵入射撃開始 鳳止
八四二					戦爆連合十二機三〇 分三〇分北進行 (カヲニ)	敵機八機八〇分方向 侵入射撃開始 鳳止
八四四	旋音鳳止方向				空方方向爆音	
八五一	旋音鳳止方向 旋音鳳止方向 機射東進行					
八五七	カヲニ二機 大出火 旋音鳳止空機回中					
九〇一	カヲニ八機 鳳止空機 高カニ回中					
九〇六						
九〇八	西海上空カヲニ六 機三〇分北進行					敵機十二機八〇分 方向侵入射撃開始 鳳止
九一四	高角砲八機射撃 掩護射撃中					敵機四機八〇分 方向侵入射撃開始 鳳止

0915				右射中上 半撃
0916			ノミハ機首向及四。 南東ニ向テ頭ヲ北ニ起 シテ機首西面ニ上 空旋回中(所謂座)	半撃山上空ヨリノミハ機首 ヲ北ニ起シテ機首西面ニ上 空旋回中(所謂座)射撃開始(半撃)
0919				
0931				
0951				爆音ノ聲ノ上ニ (左撃)
1004	四機並行射撃(九 ノ機ハ機首向及四)			ノミハ機首上ニ空ニ 機射撃開始
1015				左射撃中止
1026				機首上ニ空ヨリ因山上 空旋回中(所謂座)機二 機射撃開始(右撃)
1037	高射砲台砲撃始メ			右射撃中止右沖
1038	敵機四機並行射撃(上 高射砲台砲撃始メ)			半撃山上空ヨリノミハ機首 ヲ北ニ起シテ機首西面ニ上 空旋回中(所謂座)射撃開始(半撃)
1040				右射撃中止(所謂座)

104	砲臺待了					
105						
106						
107						
108						
109						
110						
111						
112						
113						
114						
115						
116						
117						
118						
119						
120						
121						
122						
123						
124						
125						
126						
127						
128						
129						
130						
131						
132						
133						
134						
135						
136						
137						
138						
139						
140						
141						
142						
143						
144						
145						
146						
147						
148						
149						
150						
151						
152						
153						
154						
155						
156						
157						
158						
159						
160						
161						
162						
163						
164						
165						
166						
167						
168						
169						
170						
171						
172						
173						
174						
175						
176						
177						
178						
179						
180						
181						
182						
183						
184						
185						
186						
187						
188						
189						
190						
191						
192						
193						
194						
195						
196						
197						
198						
199						
200						

1107	南西海面航面中敵機					
1108	北東進行					
1109	又今ノ三機南西海面航面北進行					
1110						
1111	爆音終る備射上空					
1112						
1113						
1114						
1115	移動防空隊発動					
1116	用者					
1117						
1118						
1119						
1120						
1121						
1122						
1123						
1124						
1125						
1126						
1127						
1128						
1129						
1130						
1131						
1132						
1133						
1134						
1135						
1136						
1137						
1138						
1139						
1140						
1141						
1142						
1143						
1144						
1145						
1146						
1147						
1148						
1149						
1150						
1151						
1152						
1153						
1154						
1155						
1156						
1157						
1158						
1159						
1160						
1161						
1162						
1163						
1164						
1165						
1166						
1167						
1168						
1169						
1170						
1171						
1172						
1173						
1174						
1175						
1176						
1177						
1178						
1179						
1180						
1181						
1182						
1183						
1184						
1185						
1186						
1187						
1188						
1189						
1190						
1191						
1192						
1193						
1194						
1195						
1196						
1197						
1198						
1199						
1200						

一四二			台南三向の多量の空襲 機銃南東東部湖内を 射撃中止		
一四九			各砲台射撃中止		
一三〇〇			機銃射撃中止		
一三〇二					
一二一五					
一二一八					
一二三〇					
一二三三					
一二三九					
一二四〇					
一二四一					
一二四二					
一二四三					
一二四四					
一二四五					
一二四六					
一二四七					
一二四八					
一二四九					
一二五〇					
一二五一					
一二五二					
一二五三					
一二五四					
一二五五					
一二五六					
一二五七					
一二五八					
一二五九					
一二六〇					
一二六一					
一二六二					
一二六三					
一二六四					
一二六五					
一二六六					
一二六七					
一二六八					
一二六九					
一二七〇					
一二七一					
一二七二					
一二七三					
一二七四					
一二七五					
一二七六					
一二七七					
一二七八					
一二七九					
一二八〇					
一二八一					
一二八二					
一二八三					
一二八四					
一二八五					
一二八六					
一二八七					
一二八八					
一二八九					
一二九〇					
一二九一					
一二九二					
一二九三					
一二九四					
一二九五					
一二九六					
一二九七					
一二九八					
一二九九					
一三〇〇					

一三〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一三五〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四〇〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四〇五	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四一〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四一五	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四二〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四二五	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四三〇	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四三七	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一四九一	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚
一五二七	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚	クランニ機南西に揚

三戰ノ果及被害

(1) 戦果

計	四	六		
花蓮港連綏基地	一	一		
花蓮港機銃砲台	一	一		
登堡砲台	一	一		
蘇澳砲台	一	一		
船	〇	〇		
岡山海軍地区	〇	三	破	三
所				三

一五三三		日機二機南支那方面東進行(馬特根)		
一五四六		高領上空現存日機在空(監視機)		
一六〇八		日機一枚南支那方面南進行(枋寮)		
一六四五	高雄警備区空襲被害報告第一種警戒警報解除(高松警備)			
一六四五	台湾全地区			(台東司)







台中機銃(清尾隊)	二十五種機銃	六	一四六	二四	九一五九	一五二七
東港機銃(木村隊)	二十五種機銃	二	一八五	九〇九	一八三三八	一五二八
移動防禦隊	十三種機銃	二	一〇〇	五〇	二五三九	一七二七〇
(新浦隊)		二	一〇三	五〇	八二三八	四一〇九
新浦山見張所		二	一三八八	一九四	六〇五六	三〇二八
新浦山見張所		二	一三六〇	一九四	三六六六	一八三一
新浦山見張所		四	二二八	五七	六〇〇八	一五〇二
在道港機銃		三	五〇〇	四二	一七〇〇	一五〇八
海口邊緩基地		四	九二	二二	五四一九	一三八〇
虎尾機銃		三	一八九	一六	一七九〇	一四九二
高角砲		五	八〇	一六	七四三〇	一四八四
台中機銃(清尾隊)		七	三二六	四七	一〇六一六	一五二七
計		五六	一八五八	三三	九一六三	二八三三
		六三	三〇三三	五四	九二六〇	三二一六
(船艇部)						
一五六型特務艇	十三種機銃	一	六〇	六〇	一六一五	一六一五
一八九〇		一	一三〇	一三〇	一八一〇	一八一〇
一九〇〇		一	二四〇	二四〇	一六一〇	一六一〇
一九一〇	十三種機銃	一	一四〇	一四〇	一六四七	一六四七

成功 結果

二〇回	二五五	三〇六	一六四	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
二一〇	二五五	三〇六	一六四	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
二二〇	二五五	三〇六	一六四	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
二六〇	二五五	三〇六	一六四	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
計	二五五	三〇六	一六四	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇

〇八三三ノ蘇澳機銃陣地北東襲撃中ニカクハスルガラソノ所ニ十五機ノ敵機ヲ見セリ。米軍ノ射撃ヲ開始ス敵機ハ陣地産下ニ待避セル船舶ニ對シテ機銃掃射爆弾投下ヲ四面ニ涉リ及復南東ニ道ヲ旋回シ後更ニ二組ニ分レ一隊ハ陣地下ノ船舶ニ對シテ他ノ一隊ハ我が機銃陣地ニ對シ及復機銃掃射ヲス之ニ對シ射撃ヲ開始ス陣地ニ飛來セル敵機兩ノ如ク我ハ猛烈ニ應戰彈藥盡テ勇氣盡テ陣雨下ヲ彈藥ヲ運搬ヲ行ヒタリ陣地附近ニ八彈跟無敵ニシテ彈藥運搬中ノ一機管田益丈ハ彈庫ノ陣地ノ中間ニ於テ四面ニ米以内ニ十數枚ノ彈跟ヲ認ムル如ク猛烈ニ此機銃掃射ヲ受ケ内一機ハ不意ノ左下腹部ヨリ右臀部ニ貫通セル之ヲ發見シ彈藥ヲ運搬スルニ二回遠ニ銃側ニ飛レテ猛烈ニ敵機ヲ逐ケ

右ノ行為ハ軍人精神ノ真髓ヲ遺憾ナク發揮セルモノニシテ推賞ス  
ルニ足ル

### 六 參 考

内米空軍攻撃要領

西米港地帯ニ米襲セル艦載機ハ五機乃至十機ノ小編隊ヲ以テ主トシテ  
在泊船舶ニ攻撃ヲ加フ

攻撃要領次ノ如シ

素襲機ハ約2000米ノ高度リ以テ航路ヲ直線トシテ敵艦ヲ

北上シ要港上空ニテ旋回ノ上ニ分散攻撃姿勢ヲとり概テ風上側ヨリ

降下角六〇度程度ノ急降下ヲ以テ爆彈ヲ投下ス

攻撃目標ハ概テ一ヶ所ニ集中セルモノノ如ク爆彈投下後ハ航

路ヲ及後シ一船舶ニ對シ相續シ損害ヲ與フル迄徹底約ニ攻撃ヲ

行フ

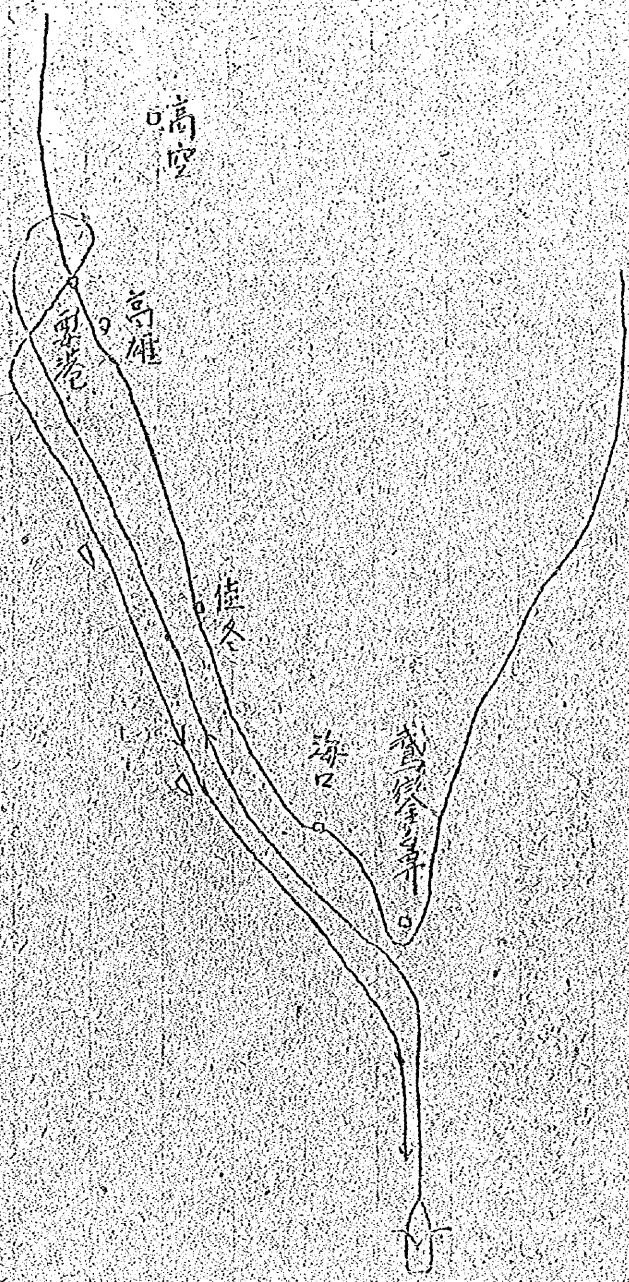
攻撃終了セバ帰路ヲ明瞭中ノ小艇艦ニ銃撃ヲ以テ攻撃ヲ行ヒタル後

離脱ス

加

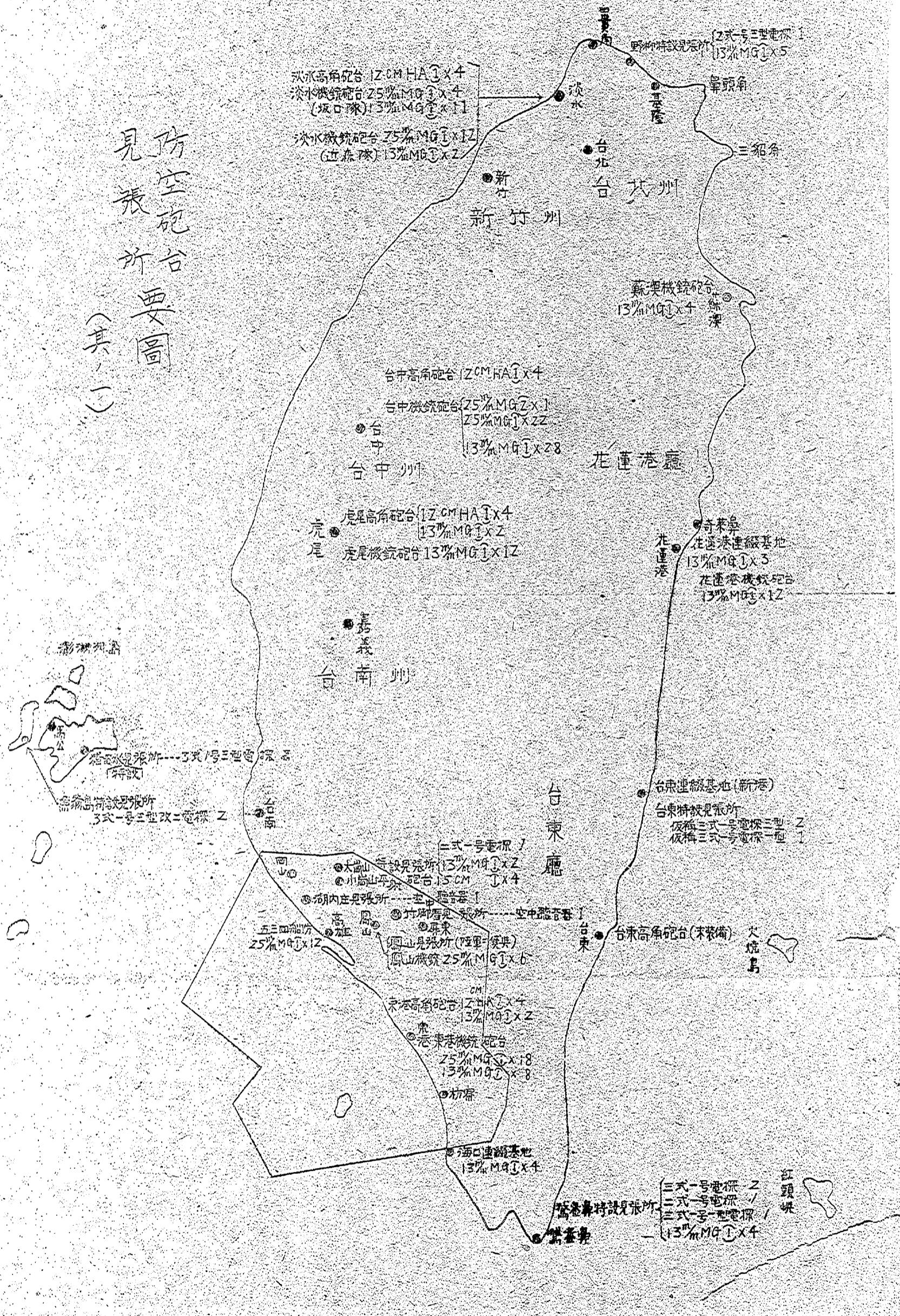
内主行動圖

- (四) 標案目標
- A 飛行場
- B 船舶
- C 軍用施設
- D 其他

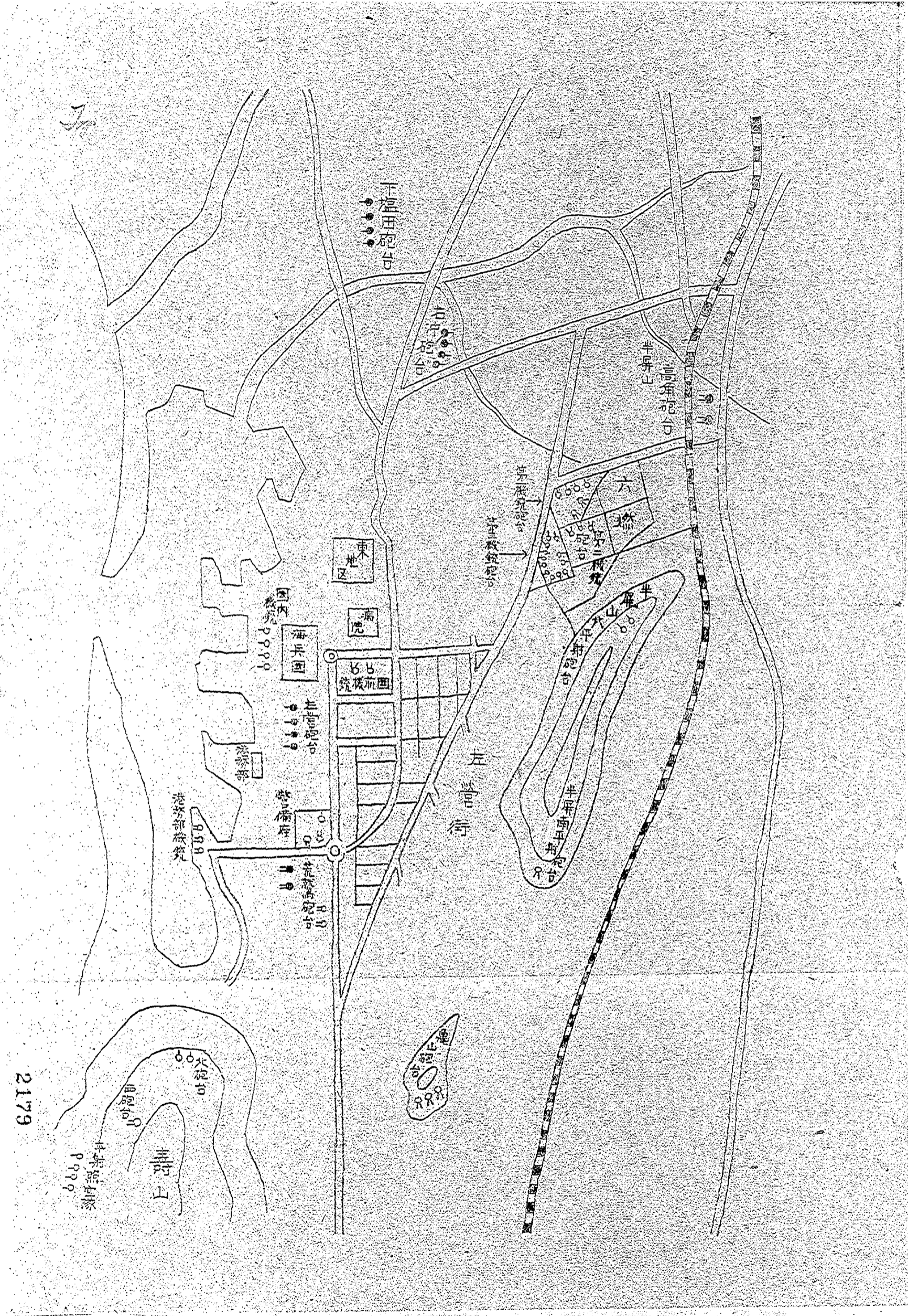


Top

見所空砲台要圖  
(其二)



2178



2179



以米空軍來襲機數

F 6 F  
S B D 延 二五〇機  
T B F

戰訓

概要 旨

敵軍ノ北島攻勢等ニ呼應セル常制ト輸送船ヲ西復滅ヲ目的トセ  
ル空襲ニシテ現戰況ノ推移ニ鑑ミ既ニ予想セル所ニテ防空  
砲台ノ整備ニ汲々トシテ努力シ来リ予定防空砲台ハ九分  
通り完備セル状態ニテ今更ニ修繕在在ノ状態左ノ如シ

空襲蒙北至リ

A 練 度

各砲台トモ前ニ因リ空襲ニ依ル貴重ナル体験ト之ニ對ス  
ル研究努力カニヨリ相當ノ練度ニ達シアリタリ

B 戰 備

台灣方面緊急戰備ニ依ル防空砲台ニ期後段迄到着裝備  
ノ状況ニアリタリ

三) 防空ニ對スル戰鬥機ノ効力ナカリシハ遺憾ナリ

戰鬥機ヲ以テスル防空ガ如何ニ重要ナルカハ言フ俟タザル所ナリ  
特ニ船舶等ニ對スル攻撃ニ對シテハ陸上裝備ノ機銃高角砲  
ハ射程外ノタメ據テ護衛充分ナラザル上船舶設備ノ對空火器  
制カリシ爲ニ急ニ敵機ヲ行動セシムル大切ナル船舶ヲ多敷海空  
ノ線トナスハ吾等ニ遺憾極メリナリ

三) 防空砲台關係ハ角力戰奮闘ナセリ

總員ノ退避ニ拘ラス独リ防空砲台關係員ノミハ威烈烈ナル環  
彈銃撃イニ在リテ毅然トシテ勇氣奮斗敵機撃墜ニ挺身  
セリ平素小ヨリ之等ヲ勇斗テ通スル道ヲ深ク考テ死シテ勿論  
之等ヲ勇斗ニ對シ積極的ニ彈藥運搬配給食糈等ニ對シ協力  
セシ事ヲ期ス

四) 對空戰鬥員技能ニ至ル所見

ノ環型艦艇等ニ在リシハ射撃技能ヲサケ飽達流着於靜ニ照  
準ナスルコト肝要ナリ(各部隊後略)  
之今回、戰鬥ニヨリ對空射撃ノ六ヶ敷ト謂フ事ヲ隊員各自ガ  
會得セシモノ如ク爾後ノ猛訓練ヲ熱望セリ(台中機銃小隊)

3. 掩体壕ヨリ十米ノ地ト炎ニ爆弾落下セルモ人員兵器異常ナシ  
 陣地ノ掩体壕ノ幅及間隔ヲ長クスルモ要アリ(台中機銃清水隊)  
 4. 今回ノ空襲ハ小規模ナルモ戦爆ヲ以テ対空陣地並飛行場ノ破壊  
 嚮テナシ對空火器ノ破壊ト長時間ノ飛翔ヲ以テ人心攪亂ヲ  
 企圖セルモノ、如ク思フス(台中機銃山川隊)  
 5. 敵機ハ遊弋運動巧如ニ急降ト下中ト雖モ常ニ機銃彈莫ク  
 避ケル爲小角度ノ襲撃ヲ行ヒ、攻撃セリ之ヲ対スル攻撃法  
 ヲ充分訓練スルノ要アリ(東港機銃木村隊)  
 6. 台湾東岸唯一ノ空港ヲ持ツ當港ハ敵機動部隊ノ空襲ハ  
 免レズ然ルニ現在對空火器ハ極ク乏人員弱ナリ對空火器ノ確  
 化ヲ要望ス(花蓮港連隊基地)